

令和元年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和2年3月31日現在)

氏名 筒井紀子

1. 研究テーマ

1) 歯科衛生士教育におけるアロマセラピーに関する研究

A study of aromatherapy in dental hygienist education

2) 歯科衛生士学生の歯科に対する意識調査

Opinion poll of dental clinics environment among dental hygienist students

3) 日本歯科大学新潟キャンパスにおける禁煙教育の活動

Activity report of No smoking education by the Nippon Dental University
Niigata campus

4) 舌清掃器具の違いによる舌清掃圧の研究

A study of tongue cleaning pressure by the difference of the tongue
cleaning equipment.

5) 歯科衛生士教育における学習効率向上のための視知覚パターンの解析

Analyses of visual perception pattern for learning efficiency up at dental
hygiene education

6) 口腔清掃用具の使用順に関する研究

Study on the order of use of oral cleaning tools

7) 歯冠近遠心幅径は叢生の程度と関係する

Proximal crown width is related to the degree of crowding

2. 今年度の研究計画

1) 歯科衛生士教育におけるアロマセラピーに関する研究

歯科衛生士は、患者さんの話を聴き、目で診て、口・身体に触れ、口において病気を判断するなど、五感を活用して患者さんを診る専門職である。五感を使って患者さんを診る際は、医療者自身が心身ともに健康であることが望まれる。そのため、臨床実習中の歯科衛生士学生を対象に「ストレスに対し、どのように対処しどのように付き合っていくか」を考えるストレスマネジメントを目的とした「アロマセラピー実習」を行い、学生のストレス緩和としてアロマセラピーが有用であることを報告した。また、歯科診療への応用に向けたアロマセラピーの研究として、真正ラベンダー精油のストレス緩和効果について研究し、その研究成果を学会で発表した。今後は、歯科衛生士が心身ともに健康な状態で業務に取り組めるよう、アロマセラピー（芳香浴）の方法を構築するために、本学学生を対象とした研究を検討している。

2) 歯科衛生士学生の歯科に対する意識調査

患者が医療者に対して悪い印象をもつことが、必ずしも歯科へのイメージを低下させるとは限らず、「別の何かの理由」によって歯科へのイメージが悪くなるのではないかと報告されている。そこで我々は、その「別の何かの理由」を明らかにするため、患者が歯科に対してどのようなイメージを持っているのか、さらに悪いイメージを持っている人は何が原因なのかについて、本研究の基礎的データを集めるため、歯科衛生士学生を対象に調査した。歯科に対するイメージ低下の要因として、「音・におい・器具」などが挙げられていた。この研究成果を学術雑誌にて報告した。今後は患者を対象に調査し、患者の不安を軽減できる歯科の環境をつくる方法や患者の不安軽減のための対応法について考え、歯科衛生士業務につなげていくことを目的として研究を継続する。

3) 日本歯科大学新潟キャンパスにおける禁煙教育の取り組み

日本歯科大学新潟キャンパス（新潟生命歯学部、新潟短期大学）は、平成19年4月1日から敷地内全面禁煙となり、学生および教職員に対する禁煙支援の取り組みについて報告を続けてきた。また、開業歯科医院・病院・歯科衛生士養成学校に勤務する歯科衛生士を対象に行った「喫煙状況と禁煙支援に対する意識」についてのアンケート調査の結果は、商業誌にて報告した。また、教育活動として現在は歯科衛生士学生を対象に禁煙支援に関する症例検討のグループワークを行っている。今後も禁煙に関する教育・研究活動を継続し、学会発表ならびに学会雑誌等で報告する予定である。

4) 舌清掃器具の違いによる舌清掃圧の研究

舌清掃は口腔清掃の一つとして定着しつつあり、患者への清掃方法指導は歯科衛生士の重要な業務の一つである。しかしながら、舌清掃の方法、特に清掃圧に関して検討した研究報告は少ない。そこで本研究では、実際にどの程度の圧をかけて舌清掃しているのか、異なるタイプの舌清掃器具を比較し基礎的なデータ収集を行った。今後は基礎的データに基づき *in vitro* で、圧力の違いによる傷つき具合の調査を行っていく。

5) 歯科衛生士教育における学習効率向上のための視知覚パターンの解析

平成 29～31 年度科研費にて行う『歯科衛生士教育における学習効率向上のための視知覚パターンの解析』の研究である。今年度は、2 年次に実技を伴う視線教育を行った学生に対し、同様の実技試験を行った課題正解率について解析を行い、その成果を第 10 回日本歯科衛生教育学会（12 月、福岡）でポスター発表を行った（効果的なデモンストレーションの検討 第 3 報：実技試験結果からの考察）。次年度は同学会に論文を投稿する予定である。

6) 口腔清掃用具の使用順に関する研究

歯ブラシと歯間ブラシの使用順序がどのように清掃効果に影響を及ぼすかを明らかにし、効果的な口腔清掃指導法を確立することを目的として研究を行った。次年度の日本歯周病学会発表する予定である（令和 2 年 5 月）。次年度は患者指導用の効果的な歯間ブラシ使用方法に関するリーフレットを作成する予定である。

7) 歯冠近遠心幅径は叢生の程度と関係する

近年、日本人の顎は小さくなっているといわれている。歯の数についても、先天的欠如の割合が増加しているとの報告がある。一方、上顎中切歯や上下顎の臼歯は歯冠近遠心幅径が増加傾向にあるとの報告もある。以前から歯と顎骨の大きさのバランスが崩れると不正咬合が発現することは広く知られており、叢生の原因については多くの研究がなされている。しかし、歯冠近遠心幅径の大小が叢生の程度に与える影響について、同年代の集団を用いて検討した研究はほとんど見当たらない。そこで、歯冠近遠心幅径と叢生の程度がどのように関係するかを検討し、混合歯列期において永久歯の大きさから将来的な不正咬合の程度を予測できれば、矯正歯科臨床に寄与することができると考えた。これが本研究の目的である。なお、本研究の結果は次年度歯科衛生学会において発表や学術論文を通じて社会へフィードバック予定である。

3. 対外的活動（学外講義・学会活動）

1) 他大学での講義

新潟市立木山小学校

2) 学会活動（査読・理事・評議員など）

記載事項なし

3) 公的な委員会等

(1) 新潟県歯科衛生士会 広報委員

(2) 新潟市中央区介護認定審査会委員

(3) 高等教育コンソーシアムにいがた 地域連携部会委員

4. 研究業績

A. 著書

(1) 筒井紀子（分担）：歯学生のための健康科学，一世出版株式会社，
2019年10月1日 第1版 発行，Chapter 5 分担，
ISBN978-4-87078-189-4.

(2) 筒井紀子（分担）：歯科衛生士必須有病者歯科学，株式会社永末書
2020年2月19日 第1版第1刷 発行，第3章分担，
ISBN978-4-8160-1375-1.

B. 原著

(1) 高塩智子，大森みさき，丸山昴介，筒井紀子，煤賀美緒：歯科健康
イベントでの無料口臭測定参加者の口臭に関する意識調査，日本口臭学会
会誌，10（1）：47-53，2019年4月30日.

C. 総説・解説

(1) 筒井紀子，大森みさき：診療室で説明できる！禁煙支援力UP 講座
第8回 歯科衛生士の喫煙に対する意識と知識，デンタルハイジーン，
39（12）：1324-1326，2019年12月20日.

(2) 筒井紀子：アロマ業界の未来大胆予想 大学におけるアロマセラピーに
関する教育、研究、実践 アロマセラピーの可能性を追求する，アロマテ
ラピーと自然療法の専門誌 aromatopia，28（6）：42，2019年12月25
日.

D. 報告・紀要

- (1) 板花明香里, 筒井紀子, 佐野公人: 歯科衛生士学生の歯科に対する意識調査, 日本口腔保健学雑誌, 9 (1): 63-71, 2019年.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

- (1) 筒井紀子, 煤賀美緒, 三富純子, 宮崎晶子, 佐藤治美, 土田智子, 元井志保, 菊地ひとみ: 要介護高齢者を想定した「ベッド上での口腔ケア」実習の新たな試み, 日本歯科衛生教育学会雑誌 第10回日本歯科衛生教育学会総会・学術大会抄録号, 10 (2): 116, 2019年12月8日.
- (2) 諸田聖佳, 筒井紀子: 真正ラベンダー精油のストレス緩和効果—歯科診療時のストレス緩和に向けて—, 日本歯科衛生教育学会雑誌 第10回日本歯科衛生教育学会総会・学術大会抄録号, 10 (2): 130, 2019年12月7日.
- (3) 宮崎晶子, 佐藤治美, 三富純子, 土田智子, 筒井紀子, 菊地ひとみ, 煤賀美緒, 佐藤律子: 効果的なデモンストレーションの検討 第3報 実技試験結果からの考察, 日本歯科衛生教育学会雑誌第10巻第2号:125, 2019年12月.
- (4) 煤賀美緒, 元井志保, 両角祐子, 土田智子, 筒井紀子, 菊地ひとみ, 高塩智子, 大森みさき, 胡玲玲, 佐野晃: 器具の違いによる舌清掃圧の比較検討—in vivoによる測定を試み—, 日本口臭学会10周年記念学術大会, 日本歯科大学生命歯学部富士見ホール, 2019年7月13日~14日.

G. 特別講演・シンポジウム講演

記載事項なし

H. その他

1. 外部研究費

1) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種類: 継続

研究期間: 2019年4月1日~2020年3月31日

研究課題名: 唾液分泌促進・口臭抑制に関する研究(新素材、舌ブラシ、歯ブラシ等)

研究代表者：筒井紀子

研究分担者：大森みさき、煤賀美緒、三富純子、宮崎晶子、佐藤治美、
土田智子、菊地ひとみ、両角祐子、三上正人

一課題あたりの総取得額：30万

2) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種類：継続

研究期間：2019年4月1日～2020年3月31日

研究課題名：歯間ブラシの使用マニュアルの探索

研究代表者：宮崎晶子

研究分担者：佐藤治美、三富純子、元井志保、土田智子、筒井紀子、
菊地ひとみ、煤賀美緒、三富純子、両角祐子

一課題あたりの総取得額：30万

3) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種類：継続

研究期間：2019年4月1日～2020年3月31日

研究課題名：歯の着色汚れに関する研究・新素材、新規開発フィラメント等に関する研究

研究代表者：佐藤治美

研究分担者：菊地ひとみ、三富純子、宮崎晶子、土田智子、筒井紀子、
元井志保、煤賀美緒

一課題あたりの総取得額：30万